東リカーペットのお手入れ方法について

掃除機をかける

効率よくゴミ・ホコリを取って快適にしましょう。

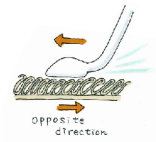
カーペットのお手入れの基本は、掃除機をかけること。
毛足の中に入り込んだホコリや小さなゴミ、さらにダニまで取り除くのに最適な方法です。
掃除機の効果をもっとアップさせるために、効率的なかけ方をご紹介しましょう。

週に2回かける

毎日と言いたいところですが、それは大変。せめて1週間に2回は掃除機を丁寧にかけましょう。まず粗ゴミを取り、汚れなどを点検しながら、ホコリを吸い取ります。

逆目にかける

掃除機は、カーペットの毛並みと逆方向にかけます。毛を起こし、毛足の根元の空気の通りをよくして、ゴミを吸い取ります。上から押さえつけると、かえってゴミが取れません。



1平方メートルあたり20秒

ダニ対策として、1平方メートルにつき20秒はかけましょう。これで、ダニやその死骸、ダニのエサなどがかなり吸い取られます。とくに人がよく歩いたり、座ったり、物を食べたりするところにホコリがたまり、ダニが集まりやすくなります。ホコリのたまりやすいところを意識して、掃除機をかけて下さい。

取れにくい糸クズなどは

からみついた毛髪や糸クズは取れにくいもの。こんな時は粘着テープを使うと、きれいに取れます。

拭き掃除をする

月1回のぞうきんがけでカーペットをキレイに保てます。

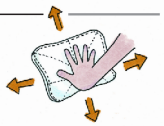
カーペット全体が薄汚れているようなら、拭き掃除がおすすめです。
月に1回くらいの拭き掃除で、カーペットをよりきれいに保つことができます。

拭き掃除の手順

固く絞ったぞうきんで水拭きします。落ちないようなら、洗剤を溶かして使います。一通り拭けたら、お湯で固くしぼったぞうきんで、洗剤が取れるまで拭きあげます。最後に乾いた布で、から拭きします。

拭き方のコツ

まずカーペットの毛並みに沿って、次は毛並みに逆らってと、いろんな方向へ力を入れて拭きます。ぞうきんはきれいな面を使うようにし、こまめにすすぎましょう。



洗剤の種類

一般に、住居用や洗濯用の中性洗剤を使います。ウール100%のカーペットなら、風合いを保つためにウール用の洗剤を使いましょう。洗剤が残らないよう、しっかりと拭き取るようにして下さい。界面活性剤の入っていないものや、水性または植物性のものなら洗剤残りをおさえられます。

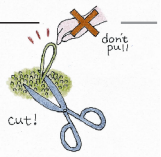
ほつれ・へこみ・焼け焦げをなおす

気になるトラブルは早めに補修しましょう。

カーペットのほつれや家具を置いた跡のへこみ、タバコの焼け焦げは気になるものです。
日頃からこまめにチェックし補修しましょう。

ほつれをなおす

毛足がほつれているのを見つけたら、決して引っ張らないこと。ほつれた毛足を回りと同じ高さにハサミで切ります。



へこみをなおす

家具跡には、お湯を染み込ませたタオルで水分を与え、20cmほど離して温風ドライヤーをあてます。スチームアイロンも効果的。撥水や防汚加工を施したものは、熱を加えるだけである程度戻ります。

焼け焦げをなおす

タバコの焼け焦げは、ウールカーペットなら歯ブラシで焦げた部分を落とし、掃除機をかけておけば大丈夫。しかし、合成繊維のものは熱で溶けているのでその部分をまずハサミで切り取ります。次に、部屋のすみや家具の下など目立たない部分の毛を、ハサミで切り取ります。焦げ目の部分に木工用ボンドをつけ、切り取った毛を埋め込んでいきます。木工用ボンドは乾くと透明になります。